

〈理念〉

# 「信頼され愛される病院」

- ・私たちは、「安心・安全の医療と介護」で地域に貢献します
- ・私たちは、「地域の救急医療」に貢献します
- ・私たちは、「地域と共に、人と共に」の心を大切にします
- ・私たちは、「全職員とその家族の健康」を大切にします



## ごあいさつ

私たちの愛生会は、昭和26年に設立して、今年で71年となります。この間に、その建物も職員も時代とともに大きく変わりましたが、設立以来決して変わらないものは、地域の人たちに「信頼され愛される病院」という理念です。そして、未来の職員にもぜひこの理念を受け継いでもらいたいと思っています。

さて、コロナは収束傾向ですが、また新たな変異株の発生もあり、感染対策には本当に愛生会職員も苦労している今日です。しかし、最近のコロナの感染リスクは以前より強いのですが、重症リスクが発生当初より減っているので、そこはやや安心できるかなと感じています。

一方、世界では、北京オリンピックが平和裏に終了したかと思いきや、ロシアによるウクライナの侵略戦争が始まりました。ロシア軍は、既に2014年にもウクライナを自国の「勢力圏」とみなし、ウクライナの土地であるクリミヤ半島を「編入」という侵略を行っていましたが、さすがにウクライナの国そのものを武力によって制圧しようとは、アメリカやEUも可能性は薄いと考えていたようです。ましてや、私たち日本人にいたっては本当に寝耳に水でした。

浅学のためロシアとウクライナの関係史を知らなかったため、最近慌てて調べたところ、ウクライナはロシアにとっての故郷のような土地で、どんなことをしてもプーチンは奪還しようとしていたことがわかりました。しかし、それはプーチンの勝手な理由であり、むしろウクライナの首都キーウはロシアの首都モスクワより歴史的に古い都なので、ロシアによるウクライナ併合にはとても正当と言える理由がないことがわかりました。

また、新聞やテレビで、ロシア軍によるウクライナの市民への非人道的行為(蛮行)を見聞きし、戦争の残酷さ、平和の尊さを今一度私たちに考えさせることになりました。

核を持つ大国のロシアが、核を持たない小国のウクライナへの侵略戦争を止めるために、アメリカやNATOが武力で抑えこもうとすれば、核戦争まである第3次世界大戦の勃発の危険性があります。そこで、日本も含め世界中の国々が、ロシアに戦争が継続できないよう強力な経済制裁を行っていますが、即効性のある方法ではないので、未だに戦争は続いています。そして、これを書いている今も罪のないウクライナ市民の命が奪われています。一刻も早くこの悲惨な戦争が終結し、世界平和が戻ることを祈らざるを得ません。

医療と介護を通して、地域の人たちの健康と福祉に貢献すること、さらには日本を含め世界の平和の一助となれるように、愛生会すべての職員は引き続き邁進してまいります。みなさまのご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

令和4年5月

理事長 片岡 祐司

# 目次

- 1 理事長挨拶
- 4 法人の沿革
- 6 法人概要
- 14 愛生会の新型コロナウイルス感染症への取り組み

## 総合上飯田第一病院

20	診療データ	
26	手術実績	
28	検査実績・各科データ	
31	診療科概要	
	消化器内科・内視鏡センター	31
	消化器外科・消化器センター	31
	腎臓内科・腎センター	32
	循環器内科	32
	脳神経内科	33
	糖尿病内科	33
	総合診療科	34
	緩和ケア外科	34
	甲状腺・内分泌センター	35
	乳腺外科・乳腺センター	35
	形成外科	36
	整形外科・人工関節・関節鏡センター	36
	皮膚科	37
	泌尿器科	37
	脳神経外科	38
	産婦人科	38
	耳鼻いんこう科	39
	眼科	39
	麻酔科	40
	老年精神科(物忘れ評価外来)	40
	地域包括サポートセンター	41
	健診センター	41
	看護部	42
	リハビリテーション科	42
	栄養科	43
	臨床検査部	43
	放射線科	44
	薬剤部	44
	臨床工学科	45
46	専門医資格一覧	
48	病診連携医療機関一覧表	
50	地域連携医療機関一覧表	
52	科別紹介患者数	

## 上飯田リハビリテーション病院

- 54 各科データ
- 55 概要
  - 上飯田リハビリテーション病院 ————— 55
  - 看護部 ————— 55
  - 通所リハビリテーション ————— 56
  - 地域医療連携室 ————— 56
  - リハビリテーション科 ————— 57
  - 栄養科 ————— 57
  - 薬剤部 ————— 58
- 58 専門医資格一覧

## 上飯田クリニック

- 60 概要
  - 上飯田クリニック ————— 60
  - 看護部 ————— 61
- 61 専門医資格一覧

## 介護福祉事業部

- 64 愛生訪問看護ステーション
- 64 あいせいケアステーション
- 65 あいせいデイサービスセンター
- 65 愛生居宅介護支援事業所
- 66 愛生訪問看護ステーション平安通
- 66 愛生複合型サービスセンター平安通
- 67 こもれびの家平安通

## 愛生会看護専門学校

- 70 概要

## 各種活動

- 72 各科研究活動
- 79 地域貢献活動
- 80 委員会活動

## 論文・抄録

- 92 研究発表等

# 法人の沿革

昭和22年	上飯田第一医院開設	
昭和26年 4月	名古屋市北区上飯田通に医療法人愛生会 上飯田第一病院開設(20床)	
昭和30年 9月	名古屋市昭和区天日町に八事好徳病院開設(75床)	
昭和34年 5月	上飯田第一病院看護婦寮(鉄筋4階)完成	
昭和37年 3月	上飯田第一病院本館(鉄筋3階)完成(106床)	昭和22年頃(法人設立前の診療所) 昭和26年頃
昭和40年 6月	八事好徳病院を閉鎖し名古屋市北区楠町味鏡如意五反田に楠第一病院として新築移転開設(125床)	
昭和43年 3月	名古屋市北区上飯田北町に上飯田第一病院新病棟開設(211床)	
8月	楠第一病院5、6階増築完成(245床)	昭和37年頃
昭和48年 11月	上飯田第一病院(鉄筋7階)新築移転(205床)	
昭和49年 3月	旧上飯田第一病院を改築し人工透析部(20床)を設置	
昭和50年 8月	楠第一病院を医療法人楠会として分離	
昭和53年 3月	上飯田第一病院職員单身寮若草苑新築(鉄筋4階)	
昭和57年 3月	名古屋市北区上飯田北町に若草苑を改築し上飯田第二病院を開設(50床)	昭和48年頃
昭和60年 10月	上飯田第二病院増築完成(71床)	
昭和62年 4月	人工透析部を上飯田第一病院附属上飯田クリニックとして分離し開設(19床)	
4月	上飯田第一病院増床(225床)	
4月	名古屋市北区五反田町に愛生会看護専門学校を開校	
7月	上飯田第二病院増床(100床)	
平成2年 4月	名古屋市北区五反田町に社会福祉法人愛生福祉会特別養護老人ホーム愛生苑開設(定員100名)	
5月	上飯田第一病院増改築完成	
6月	名古屋市北区上飯田北町に上飯田クリニック新築移転	
平成3年 6月	上飯田第一病院を総合上飯田第一病院に名称変更	
平成7年 6月	上飯田第二病院を療養型病床群として増改築(90床)	
平成8年 4月	名古屋市北区上飯田通に愛生訪問看護ステーション開設	
11月	上飯田第二病院を全病床長期療養型病床群へ移行	
平成9年 7月	上飯田第二病院4Fにリハビリ室増設	
平成11年 12月	医療法人愛生会上飯田第二病院 財団法人日本医療機能評価機構 認定取得(療養病院<Ver.3.1>)	
平成13年 4月	介護保険施行に伴い上飯田第二病院全床医療型療養病床とする	
4月	上飯田第二病院にて回復期リハビリテーション病棟新設(療養45床、回復期リハビリテーション45床)	
12月	総合上飯田第一病院新病棟(南館入院棟)完成(225床)	平成13年
平成14年 6月	上飯田第二病院を回復期リハビリテーション病棟へ移行(全床回復期リハビリテーション90床)	
12月	総合上飯田第一病院北館(外来棟)改修工事完了	
平成16年 11月	名古屋市北区上飯田通に あいせいデイサービスセンター開設	
12月	医療法人愛生会上飯田第二病院 財団法人日本医療機能評価機構 認定更新(療養病院<Ver.4.0>)	
平成17年 4月	愛生居宅介護支援事業所を総合上飯田第一病院内から上飯田通沿いのCKビルに移転再開	
6月	総合上飯田第一病院から医療法人愛生会総合上飯田第一病院に名称変更 上飯田第二病院から医療法人愛生会上飯田リハビリテーション病院に名称変更 上飯田クリニックから医療法人愛生会上飯田クリニックに名称変更	

平成18年	2月	医療法人愛生会総合上飯田第一病院 財団法人日本医療機能評価機構 認定取得 (一般病院<Ver.4.0>)		総合上飯田第一病院	
	4月	医療法人愛生会総合上飯田第一病院が臨床研修病院の指定を受ける			
	4月	名古屋市北区東部地域包括支援センター開設(名古屋市委託事業)			
平成20年	9月	医療法人愛生会総合上飯田第一病院北館(外来棟)に健診センター開設		上飯田 リハビリテーション病院	
平成21年	12月	医療法人愛生会上飯田リハビリテーション病院 財団法人日本医療機能評価機構 認定更新			
	12月	医療法人愛生会上飯田リハビリテーション病院 財団法人日本医療機能評価機構 認定更新(療養病院<Ver.6.0>)			
平成22年	1月	医療法人愛生会上飯田リハビリテーション病院増築工事完了		上飯田クリニック	
	1月	院内託児所を現在の場所に移転			平成22年
平成23年	1月	名古屋市北区東部地域包括支援センターから 名古屋市北区東部いきいき支援センターに名称変更		介護福祉事業部	
	2月	医療法人愛生会総合上飯田第一病院 財団法人日本医療機能評価機構 認定更新 (一般病院<Ver.6.0>)			
	5月	愛生会シンボルマーク「あいちゃん」商標登録完了			
平成24年	6月	医療法人愛生会総合上飯田第一病院南館(入院棟)増築工事完了		愛生会看護専門学校	
	7月	医療法人愛生会総合上飯田第一病院南館(入院棟)に腎センター開設			
	9月	医療法人愛生会上飯田リハビリテーション病院 増床(98床) 医療法人愛生会上飯田クリニック 病床数変更(11床)			平成24年
平成25年	1月	医療法人愛生会総合上飯田第一病院南館(入院棟)増床(230床) 医療法人愛生会上飯田クリニック 病床数変更(6床)		各種活動	
	3月	医療法人愛生会総合上飯田第一病院北館(外来棟)に内視鏡センター開設 医療法人愛生会総合上飯田第一病院北館(外来棟)に乳腺センター開設			
	6月	名古屋市北区東部いきいき支援センター閉鎖			
	7月	名古屋市北区辻本通にあいせいデイサービスセンター新築移転			
平成26年	4月	社会医療法人に移行		論文・抄録	
	10月	社会医療法人愛生会総合上飯田第一病院南館(入院棟)に地域包括ケア病棟開設 (一般192床、地域包括ケア38床)			
	10月	名古屋市北区上飯田通にあいせいケアステーション開設			
	12月	社会医療法人愛生会上飯田リハビリテーション病院 財団法人日本医療機能評価機構 認定更新(リハビリテーション病院<3rdG:Ver.1.0>)			
平成28年	1月	社会医療法人愛生会総合上飯田第一病院南館(入院棟)増床(236床) (一般196床、地域包括ケア40床) 社会医療法人愛生会上飯田クリニック 病床数変更(0床)			
	2月	社会医療法人愛生会総合上飯田第一病院 財団法人日本医療機能評価機構 認定更新 (一般病院2<3rdG:Ver.1.1>)			
平成31年	2月	社会医療法人愛生会が健康経営優良法人(ホワイト500)の認定を受ける			
令和1年	12月	社会医療法人愛生会総合上飯田第一病院南館(入院棟)の地域包括ケア病棟増設 (一般148床、地域包括ケア88床) 社会医療法人愛生会上飯田リハビリテーション病院 財団法人日本医療機能評価機構認定更新 (リハビリテーション病院<3rdG:Ver.2.0>)			
令和2年	4月	名古屋市北区東大曾根町にあいせいケアステーションを移転 名古屋市北区東大曾根町に愛生訪問看護ステーション平安通開設 名古屋市北区東大曾根町に愛生複合型サービスセンター平安通開設 名古屋市北区東大曾根町にこもれびの家平安通開設			

# 法人概要

(2021年12月1日現在)

## 開設者

### 社会医療法人 愛生会

- 理事長 片岡 祐司
- 郵便番号 462-0808
- 所在地 名古屋市北区上飯田通2丁目37番地
- 電話番号 052-914-7071
- ホームページアドレス <http://www.aiseikai-hc.or.jp>

## 急性期医療（一般病棟、地域包括ケア病棟）

### 社会医療法人愛生会 総合上飯田第一病院

- 院長 山口 洋介
- 郵便番号 462-0802
- 所在地 名古屋市北区上飯田北町2丁目70番地
- 電話番号 052-991-3111
- ホームページアドレス <http://www.kamiida-hp.jp>
- 職員数 771名  
(常勤医師54名、看護師250名、准看護師8名、  
薬剤師12名、診療放射線技師15名、  
臨床検査技師18名、臨床工学技士11名、  
管理栄養士8名、歯科衛生士2名、理学療法士20名、  
作業療法士15名、言語聴覚士4名)
- 届出病床数 急性期病棟：148床  
地域包括ケア病棟：88床
- DPC 医療機関群の種類 DPC 標準病院群
- 救急告示病院の告示の有無 有り
- 二次救急医療施設の認定の有無 有り
- 標榜科目 内科、脳神経内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、  
糖尿病内科、腎臓内科、小児科、外科、脳神経外科、整形外科、  
リハビリテーション科、消化器外科、乳腺外科、  
ペインクリニック外科、眼科、耳鼻いんこう科、皮膚科、  
泌尿器科、産婦人科、老年精神科、放射線科、麻酔科、  
形成外科
- 特殊診療 総合診療科  
血管外科  
健診センター  
甲状腺・内分泌センター  
乳腺センター  
内視鏡センター  
人工関節・関節鏡センター  
腎センター  
緩和ケアセンター  
ワクチン外来  
ペインクリニック外来  
緩和ケア相談外来  
乳房形成外来  
スポーツ外来  
耳鳴・難聴外来  
物忘れ評価外来  
肝炎治療外来  
認知症評価外来  
腫瘍外来  
脊椎外来  
骨粗鬆症評価外来

●保険医療機関、公費負担医療機関及びその他の病院の種類

- 保険医療機関
- 労災保険指定医療機関
- 指定自立支援医療機関（精神通院医療）
- 生活保護法指定医療機関
- 原子爆弾被害者一般疾病医療取扱医療機関
- 公害医療機関
- 母体保護法指定医の配置されている医療機関
- 臨床研修病院（基幹型）
- 特定疾患治療研究事業委託医療機関
- DPC 対象病院
- 愛知県難病指定医療機関
- 日本医療機能評価機構認定病院（一般病院2<3rdG:Ver.1.1>）
- 救急病院指定
- 指定自立支援医療機関（更生医療）
- 指定小児慢性特定疾病医療機関

●医師の専門性に関する資格の種類

- 整形外科専門医 4
- 肝臓専門医 1
- 皮膚科専門医 1
- 麻酔科専門医 5
- 眼科専門医 1
- 産婦人科専門医 1
- 耳鼻咽喉科専門医 1
- 総合内科専門医 4
- 外科専門医 6
- 消化器病専門医 3
- 腎臓専門医 2
- 小児科専門医 1
- 消化器外科専門医 3
- 泌尿器科専門医 1
- 透析専門医 1
- 消化器内視鏡専門医 3
- 神経内科専門医 1
- 乳腺専門医 2
- 一般病院連携精神医学専門医 1
- 精神科専門医 1
- 形成外科専門医 1
- 循環器専門医 2
- リウマチ専門医 2
- 熱傷専門医 1

●施設基準

基本診療料の施設基準

- \* 一般病棟入院基本料（急性期一般入院料1）
- \* 総合入院体制加算3
- \* 救急医療管理加算
- \* 診療録管理体制加算1
- \* 医師事務作業補助体制加算1（15対1補助体制加算）
- \* 25対1急性期看護補助体制加算（看護補助者5割以上）
- \* 夜間100対1急性期看護補助体制加算、夜間看護体制加算
- \* 看護職員夜間12対1配置加算1
- \* 療養環境加算
- \* 重症者等療養環境特別加算（個室）
- \* 緩和ケア診療加算
- \* 栄養サポートチーム加算
- \* 医療安全対策加算1（医療安全対策地域連携加算1）
- \* 感染防止対策加算1（感染防止対策地域連携加算、抗菌薬適正使用支援加算）
- \* 患者サポート体制充実加算
- \* ハイリスク妊娠管理加算
- \* 後発医薬品使用体制加算1
- \* 病棟薬剤業務実施加算1
- \* データ提出加算2（200床以上）
- \* 入退院支援加算1（地域連携診療計画加算）（入退院支援加算）（総合機能評価加算）
- \* せん妄ハイリスク患者ケア加算
- \* 認知症ケア加算1
- \* 排尿自立支援加算
- \* 地域包括ケア病棟入院料2（看護職員配置加算、看護職員夜間配置加算、看護補助者配置加算）

総合上飯田第一病院

上飯田  
リハビリテーション病院

上飯田クリニック

介護福祉事業部

愛生会看護専門学校

各種活動

論文・抄録

特掲診療料の施設基準

- \* 糖尿病合併症管理料
  - \* がん性疼痛緩和指導管理料
  - \* がん患者指導管理料 イ
  - \* がん患者指導管理料 ロ
  - \* がん患者指導管理料 二
  - \* 婦人科特定疾患治療管理料
  - \* 小児科外来診療料
  - \* 外来緩和ケア管理料
  - \* 糖尿病透析予防指導管理料 (高度腎機能障害患者指導加算)
  - \* 乳腺炎重症化予防・ケア指導料
  - \* 院内トリアージ実施料
  - \* 夜間休日救急搬送医学管理料の注3に掲げる救急搬送看護体制加算2
  - \* ニコチン依存症管理料
  - \* がん治療連携指導料
  - \* 外来排尿自立指導料
  - \* 肝炎インターフェロン治療計画料
  - \* 外来排尿自立指導管理料
  - \* ハイリスク妊産婦連携指導料1
  - \* 薬剤管理指導料
  - \* 医療機器安全管理料1
  - \* 持続血糖測定器加算  
( 間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合 )
  - \* 持続血糖測定器加算  
( 間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合 )
  - \* BRCA1/2遺伝子検査
  - \* 全視野精密網膜電図
  - \* 皮下連続式グルコース測定
  - \* 椎間板内酵素注入療法
  - \* HPV 核酸検出及び HPV 核酸検出 (簡易ジェノタイプ判定)
  - \* 検体検査管理加算 ( I )( IV )
  - \* ヘッドアップティルト試験
  - \* コンタクトレンズ検査料1
  - \* 小児食物アレルギー負荷検査
  - \* CT 撮影及び MRI 撮影
  - \* 抗悪性腫瘍剤処方管理加算
  - \* 外来化学療法加算1
  - \* 無菌製剤処理料
  - \* 脳血管疾患等リハビリテーション料 ( I )
  - \* 運動器リハビリテーション料 ( I )
  - \* 呼吸器リハビリテーション料 ( I )
  - \* がん患者リハビリテーション料
  - \* エタノールの局所注入 (甲状腺)
  - \* エタノールの局所注入 (副甲状腺)
  - \* 人工腎臓
  - \* 導入期加算1
  - \* 透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
  - \* 組織拡張器による再建手術 (一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)(一次再建、二次再建)
  - \* 緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
  - \* 緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
  - \* 網膜再建術
  - \* 乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ生検(単独)
  - \* ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)(一次一次的再建、一次二次的再建)
  - \* ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
  - \* 胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)
  - \* 輸血管理料Ⅱ
  - \* 輸血適正使用加算
  - \* 人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
  - \* 胃瘻造設時嚥下機能評価加算
  - \* 麻酔管理料(Ⅰ)
  - \* 麻酔管理料(Ⅱ)
  - \* DPC 対象病院
- |         |        |
|---------|--------|
| 基礎係数    | 1.0404 |
| 機能評価係数Ⅰ | 0.3571 |
| 機能評価係数Ⅱ | 0.0704 |

実施している先進医療

- \* 多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術

## ●主な設備

3テスラ MRI 装置  
 128チャンネルマルチスライス CT  
 80チャンネルマルチスライス CT  
 骨密度測定装置  
 血管連続撮影装置  
 X線 TV 装置  
 ポータブル X線撮影装置  
 外科用 X線撮影装置 (Cアーム)  
 デジタルレントゲン撮影装置  
 遺伝子増幅検出装置  
 生化学自動分析装置  
 血液ガス分析装置  
 超音波診断装置  
 超音波診断装置 (4D)  
 簡易型睡眠時無呼吸検査装置  
 免疫自動分析装置  
 肺機能検査機器  
 脳波計  
 筋電図・誘発電位検査装置  
 心電計  
 血管機能検査装置  
 ホルター心電図  
 全自動総合血液学分析装置  
 血液型分析装置  
 乳房 X線撮影装置 (デジタルマンモグラフィ)  
 乳癌診断装置 (マンモトーム)  
 乳腺バイオプシー装置  
 画像伝送システム  
 手術室透視装置  
 人工呼吸管理装置  
 全病室医療配管設備  
 腹腔鏡下手術装置  
 超音波破碎吸引装置  
 カプセル内視鏡システム大腸  
 カプセル内視鏡システム小腸  
 経鼻 (細径) 内視鏡  
 超音波内視鏡  
 NBI 内視鏡  
 拡大内視鏡  
 内視鏡用炭酸ガス送気装置  
 レーザー光凝固装置  
 硝子体手術装置  
 白内障手術装置  
 光干渉断層計  
 走査型レーザー検眼鏡  
 光力学装置  
 多用途透析監視装置  
 生体情報モニタ  
 トレッドミル  
 反重力トレッドミル (アルター・ジー)  
 エルゴメーター  
 自動間欠牽引装置  
 電気刺激装置  
 パワープレート  
 CPM  
 関節鏡システム  
 手術用顕微鏡 (眼科・脳外)  
 全身麻酔装置  
 電気メス  
 キューサー  
 輸液ポンプ  
 輸血ポンプ  
 シリンジポンプ  
 低圧持続吸引機  
 自動体外式除細動器 (AED)

総合上飯田第一病院

上飯田  
リハビリテーション  
クリニック

上飯田クリニック

介護福祉事業部

愛生会看護専門  
学校

各種活動

論文・抄録

## 回復期医療（回復期リハビリテーション病棟）

### 社会医療法人愛生会 上飯田リハビリテーション病院

- 院長 水野 正昇
- 郵便番号 462-0802
- 所在地 名古屋市北区上飯田北町3丁目57番地
- 電話番号 052-916-3681
- ホームページアドレス <http://kami2-hp.jp>
- 電子メールアドレス [kami2@kamiiida-hp.jp](mailto:kami2@kamiiida-hp.jp)
- 職員数 194名  
(常勤医師5名、看護師50名、准看護師4名、介護士18名、薬剤師2名、診療放射線技師1名、管理栄養士2名、理学療法士33名、作業療法士24名、言語聴覚士12名、社会福祉士3名)
- 届出病床数 98床
- 標榜科目 リハビリテーション科、内科、神経内科
- 施設基準  
基本診療料の施設基準

回復期リハビリテーション病棟入院料1  
患者サポート体制充実加算  
認知症ケア加算2  
入退院支援加算1  
入院時食事療養費（I）  
診療録管理体制加算1  
データ提出加算2 □（200床未満）  
医療安全対策加算2

#### 特掲診療料の施設基準

電子的診療情報評価料  
地域連携診療計画加算  
脳血管疾患等リハビリテーション料（I）  
運動器リハビリテーション料（I）  
在宅時医学総合管理料

#### ●保険医療機関、公費負担医療機関及びその他の病院の種類

保険医療機関  
労災保険指定医療機関  
生活保護法指定医療機関  
結核指定医療機関  
原子爆弾被害者一般疾病医療取扱医療機関  
愛知県難病指定医療機関  
日本医療機能評価機構認定病院（3rdG：Ver.2.0）

#### ●医師の専門性に関する資格の種類

リハビリテーション科専門医	1
整形外科専門医	3
回復期リハビリテーション病棟専従医師	5

#### ●介護保険サービス

通所リハビリテーション  
介護予防通所リハビリテーション

## ●介護保険体制、加算他

入浴介助体制  
 送迎体制  
 運動器機能向上体制  
 栄養マネジメント（改善）体制  
 口腔機能向上体制  
 サービス提供体制強化加算  
 短期集中個別リハビリテーション実施加算  
 リハビリテーションマネジメント加算  
 中重度ケア体制加算  
 生活行為向上リハビリテーション実施加算  
 選択的サービス複数実施加算  
 介護職員処遇改善加算  
 生活保護指定  
 サービス提供体制加算

総合上飯田第一病院

上飯田  
リハビリテーション病院

上飯田クリニック

## 慢性期医療（人工血液透析）


 社会医療法人愛生会  
 上飯田クリニック

- 院長 三浦 直人
- 郵便番号 462-0802
- 所在地 名古屋市北区上飯田北町1丁目76番地
- 電話番号 052-914-3387
- ホームページアドレス <http://www.aiseikai-hc.or.jp/clinic/>
- 職員数 常勤20名 非常勤35名
- 標榜科目 内科、外科、泌尿器科
- 施設基準
  - 時間外対応加算 1
  - 脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅲ）
  - 運動器リハビリテーション料（Ⅲ）
  - 人工腎臓
  - 導入期加算 1
  - 透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
  - 下肢末梢動脈疾患指導管理加算
  - 酸素の購入単価
- 保険医療機関、公費負担医療機関及びその他の病院の種類
  - 保険医療機関
  - 労災保険指定医療機関
  - 指定自立支援医療機関（更生医療）
  - 生活保護法指定医療機関
  - 愛知県難病指定医療機関
- 医師の専門性に関する資格の種類
  - 腎臓専門医 1

介護福祉事業部

愛生会看護専門学校

各種活動

論文・抄録

## 介護福祉事業部

### ▶ 愛生訪問看護ステーション

- 管理者 七村 裕美子
- 郵便番号 462-0808
- 所在地 名古屋市北区上飯田通2丁目37番地 CKビル1階
- 電話番号 052-991-3210
- ホームページアドレス <https://www.aiseikai-hc.or.jp/vn-st/>
- 職員数 15名
- 介護サービスの種類 訪問看護  
介護予防訪問看護
- 介護保険事業所番号 2360390013
- 体制、加算他 24時間対応体制加算  
特別管理加算  
ターミナルケア体制（看取り介護体制）  
サービス提供体制強化加算  
生活保護指定  
労働保険指定訪問看護事業者指定

### ▶ あいせいケアステーション

- 管理者 船場 良介
- 郵便番号 462-0823
- 所在地 名古屋市北区東大曽根町上1丁目828番地
- 電話番号 052-991-3152
- ホームページアドレス <https://www.aiseikai-hc.or.jp/vc-st/>
- 職員数 12名
- 介護サービスの種類 訪問介護（身体介護）  
訪問介護（生活援助）  
総合事業（予防専門型）  
総合事業（生活支援型）  
自費サービス  
居宅介護
- 介護保険事業所番号 2370303469
- 障害福祉事業所番号 2317301006
- 体制、加算他 特定事業所加算Ⅱ（訪問介護）  
特定事業所加算Ⅱ（居宅介護）  
介護職員処遇改善加算Ⅰ  
介護職員等特定処遇改善加算Ⅰ  
生活保護指定  
登録喀痰吸引等事業所（登録特定行為事業所）（介護保険サービス）  
登録喀痰吸引等事業所（登録特定行為事業所）（障害福祉サービス）

### ▶ あいせいデイサービスセンター

- 管理者 中野 正佐仁
- 郵便番号 462-0861
- 所在地 名古屋市北区辻本通2丁目38番地
- 電話番号 052-991-3548
- ホームページアドレス <https://www.aiseikai-hc.or.jp/dcs/>
- 職員数 18名
- 介護サービスの種類 通所介護（通常規模型事業所）  
介護予防通所介護・予防専門型通所サービス
- 介護保険事業所番号 2370301364
- 体制、加算他 機能訓練指導体制加算  
入浴介助体制加算  
送迎体制加算  
個別機能訓練体制加算Ⅰ・Ⅱ  
サービス提供体制強化加算Ⅱ  
運動機能向上加算（要支援）  
入浴介助加算  
中重度ケア体制加算  
介護職員処遇改善加算Ⅰ  
介護職員等特定処遇改善加算Ⅰ  
生活保護指定

## ▶ 愛生居宅介護支援事業所

- 管理者 今枝 敬典
- 郵便番号 462-0808
- 所在地 名古屋市北区上飯田通2丁目37番地 CKビル1階
- 電話番号 052-991-3546
- ホームページアドレス <https://www.aiseikai-hc.or.jp/caremanager/>
- 職員数 9名
- 介護サービスの種類 居宅介護支援
- 介護保険事業所番号 2370300184
- 体制、加算他 特定事業所加算Ⅰ（居宅介護支援）  
生活保護指定

## ▶ 愛生訪問看護ステーション平安通

- 管理者 山田 真行
- 郵便番号 462-0823
- 所在地 名古屋市北区東大曽根町上1丁目828番地
- 電話番号 052-908-8550
- 職員数 8名
- 介護サービスの種類 訪問看護  
介護予防訪問看護
- 介護保険事業者番号 2360390427
- 体制、加算他 緊急時訪問看護加算  
特別管理加算Ⅰ・Ⅱ  
ターミナル加算  
退院時共同指導加算  
生活保護指定

## ▶ 愛生複合型サービスセンター平安通

- 管理者 石原 友美
- 郵便番号 462-0823
- 所在地 名古屋市北区東大曽根町上1丁目828番地
- 電話番号 052-908-5011
- 職員数 16名
- 介護サービスの種類 看護小規模多機能型居宅介護
- 介護保険事業者番号 2390300388
- 体制、加算他 認知症加算Ⅰ・Ⅱ  
緊急時訪問看護加算  
特別管理加算Ⅰ・Ⅱ  
総合マネジメント体制強化加算  
ターミナルケア加算  
退院時共同指導加算  
訪問体制強化加算  
サービス提供体制強化加算Ⅲ  
口腔・栄養スクリーニング加算Ⅰ・Ⅱ  
栄養アセスメント加算  
栄養改善加算  
科学的介護推進体制加算

## ▶ こもれびの家平安通

- 管理者 船場 良介
- 郵便番号 462-0823
- 所在地 名古屋市北区東大曽根町上1丁目828番地  
ケア複合施設平安通2階
- 電話番号 052-908-1355
- 職員数 11名
- 介護サービスの種類 住宅型有料老人ホーム

## 看護学校

### ▶ 愛生会看護専門学校

- 学校長 小澤 正敏
- 郵便番号 462-0011
- 所在地 名古屋市北区五反田町110番地の1
- 電話番号 052-901-5101
- ホームページアドレス <https://www.aiseikai-hc.or.jp/ai-kango/>
- 職員数 15名

総合上飯田第一病院

上飯田  
リハビリテーション  
センター

上飯田クリニック

介護福祉事業部

愛生会看護専門  
学校

各種活動

論文・抄録

## 愛生会の新型コロナウイルス感染症への取り組み

### 総合上飯田第一病院

院長 山口 洋介

#### この一年を振り返って“～コロナとの闘い～”

当院におけるコロナ対策の目標は以下の通りです。

1. 安心・安全に手術治療ができる。
2. 入院患者さんをコロナ感染から守る。
3. 地域の安心のためにコロナ診療を行う。

その対策としては、

- ・全身麻酔手術の患者さんには入院前1週間の体調チェック表を提出、入院前PCR、入院前胸部単純CT検査を行い、ICTが感染の有無をチェックしています。
- ・通常入院の際にも入院前PCR検査、胸部CT、入院前の体調の聞き取りを行い、感染の有無をチェックしています。
- ・休日夜間の緊急入院患者さんには高感度コロナ抗原検査、胸部CTを行います。翌日PCR検査を行い、陰性確認できるまでは個室に入院し感染対策をとっています。
- ・発熱者、風邪症状のある患者さんは発熱外来でいったんコロナ検査（高感度コロナ抗原＋胸部CT）を行ってから通常の外来を受診していただいています。

「コロナ病棟」

4階病棟の一部を使って運用していたコロナ病床も、2020年12月に第3波を受けて7階病棟全体を使って運用開始するようになりました。10床の病床を使って10床運用していましたが、27床の病棟を12床のコロナ病棟として運用開始しました。

「職員コロナワクチン」

2021年2月から一部の医療機関で開始されましたが、当院では3月下旬から職員へのワクチン接種を開始しました。副反応に注意し、少しずつ接種していきました。

「院内クラスター発生（第4波）」

すべての職員の接種が終わっていない頃、4月終りに職員のひとりからコロナ陽性反応が出ました。その職員の働く部署の入院患者、職員にPCR検査を行いました。職員が1名、患者さんに2名の感染者が明らかになりました。その時点でその病棟を隔離病棟としました。救急外来を停止し、当該病棟の手術も停止しました。また、すべての職員に抗体検査を行いました。2回接種が完了していない職員には十分な抗体がないことが判明したため、コロナ発生病棟において2回接種完了していない職員は自宅待機としました。48時間ごとに患者さんにPCR検査を行い、10日間で計24名の発生がありました。5月10日に最後の感染者を確認し、その14日後、25日から通常通り、患者さんを受け入れるようになりました。初めの職員は通常株でしたが、患者さんはイギリス株でした。時間列から考えても職員からではなく、感染源は同定されませんでした。最も早く感染したと思われる患者さんも入院からかなりの期間があり、職員以外の病棟への入場制限をすることになりました。

「ワクチン接種」

基本型のワクチン接種病院となり、5月から近隣の医療従事者のワクチン接種を行いました。思った以上に時間がかかり、一般接種を開始できたのは7月末からでした。地域医療に貢献するため、多くの人たちにワクチン接種を行いました。

「第5波・デルタ株」

病床数を12床から15床へと拡大し、常に10名程度の入院患者さんに対応していました。ワクチン未接種の20代から50代くらいの患者さんが多く、肺炎を合併する方を多く認めました。比較的重症例が少なく、逼迫するようなことはありませんでした。

「第6波・オミクロン株」

ワクチン未接種の子供や高齢者施設で続々とクラスターが発生しています。子供が感染することで濃厚接触者や感染者となる職員も多く、就労者を確保するという意味での大変さがあります。また、肺炎を合併することは少ないが、高齢者が感染によってADLが低下し、誤嚥性肺炎をきたす症例が多い。コロナの治療というより、コロナに感染したADLの低い高齢者への対応という感じでリハビリもできず、ただ弱っていくのを見ている状況が続いている。

まん延防止等重点措置も3月21日までで解除される予定です。ウイルスは徐々に弱毒化しているように思われますが、まだまだ分かりません。いつまで続くかわからない感染対策をこのまま続けていかなければいけないようです。来年度のどこかで終息宣言が出るといいのですが。

西暦	元号	月	日	出来事	補足	
2021年	令和3年	1月	14日	緊急事態宣言発令（～2/7）		
			2日	緊急事態宣言延長（～2/28）		
		2月	10日	新型コロナワクチン接種についての意向調査	派遣・委託職員を含めた全職員対象	
			25日	PCR検査旅行について発出（院長通達）	全麻手術患者・転入院患者などの対象者は必須	
			27日	愛知県厳重警戒宣言発令（～3/14）		
			27日	委員会・会議・外部実習生受け入れ自粛について発令4度目（～5/8予定）		
		3月	11日	愛知県厳重警戒宣言延長（～3/21）		
			16日	新型コロナワクチン接種についてのお知らせ（院長通達）		
			17日	一部職員の新型コロナワクチン接種開始		
			30日	ワクチン集団接種の医師派遣について意向調査		
		4月	20日	名古屋市まん延防止等重点措置の実施（～5/11）		
			20日	外部医療従事者向けワクチン接種開始	南館8F 会議室・みはらし亭を使用	
			20日	市より75歳以上の高齢者へワクチンクーポン郵送	ワクチン関連の問い合わせ多数あり、病院運営に大きく影響	
			20日	HP上へワクチン接種のお知らせをUP	接種・予約ともにできない旨を表示	
			23日	ワクチン一般接種について発出（院長通達）	接種のめどが立たないため、市の集団接種へ案内	
			26日	職員と同居の高齢者ワクチン接種について（院長通達）		
			27日	HP上へ新型コロナウイルス感染症の発生についてUP	職員1名、入院患者5名	
			30日	HP上へ新型コロナウイルス感染症の発生について（第二報）UP	職員3名、委託業者1名、入院患者8名、合計12名	
			5月	6日	HP上へ新型コロナウイルス感染症の発生について（第三報）UP	職員3名、委託業者1名、入院患者21名、合計25名
				6日	全職員を対象に緊急の抗体検査実施（～5/7）	
		7日		委員会・会議自粛について発令5度目（～無期限）		
		7日		緊急事態宣言発令（5/12～5/31）		
		13日		ワクチン一般接種について発出（院長通達）	一般の方へ接種は行わない	
		13日		HP上のワクチン接種のお知らせを更新	一般の方へ接種は行わない	
		14日		HP上へ新型コロナウイルス感染症の発生について（第四報）UP	患者1名、合計26名	
		17日		HP上へ入院患者受け入れ開始のお知らせUP		
		20日		県内1,000㎡超施設に土日の休業要請（5/22～5/31）	生活必需品売り場を除く百貨店、スポーツクラブなどが対象	
		28日		緊急事態宣言延長（～6/20）		
		6月	7日	ワクチン一般高齢者へ予約開始	電話不可、診察室もしくは医事課受付のみ対応	
			7日	HP上へワクチン一般高齢者へ予約開始のお知らせUP		
			8日	政府より各企業でワクチン接種を行うと発表	最低1,000人以上を対象	
			14日	64歳以下職員同居家族のワクチン接種について（院長通達）		
			17日	緊急事態宣言からまん延防止等重点措置へ移行（6/21～7/11）	名古屋市を含む11市町村が対象地域	
			18日	委員会・会議自粛解除		
			21日	ワクチン一般高齢者へ接種開始	1日60人を限度	
			22日	HP上へ新型コロナウイルス感染症の発生についてUP	職員2名	
			25日	抗体再検査実施（～7/2）	5月に行った検査で抗体値が一定値未満の職員対象	
			29日	まん延防止等重点措置の対象地域緩和（7/3～）	名古屋市を含む4市を措置対象地域へ	
		7月	29日	HP上へ新型コロナウイルス感染症の発生についてUP（訂正）	職員3名	
			30日	政府より職域接種を一時中止すると発表	ワクチン不足のため	
2日	職員家族のワクチン接種について（理事長通達）		1回目・8/1（日） 2回目・8/22（日）			
8日	まん延防止等重点措置の解除決定（～7/12）、愛知県厳重警戒措置へ移行（7/13～）					
8日	五輪は1都3県で無観客決定		東京4度目の緊急事態宣言の影響			
9日	職員家族のワクチン接種について申込期限の変更（理事長通達）		申込者殺到のため7/16までから7/12までに変更			
15日	HP上へワクチン予約開始のお知らせUP（16日～）					
16日	一般の方へのワクチン予約開始		予約時に接種クーポンの提示が必須			

西暦	元号	月	日	出来事	補足			
2021年	令和3年	7月	23日	東京オリンピック開会式				
			28日	東京での新規陽性者、初の3,000人超	政府よりオリンピックの中止はしないと発表			
		8月	29日	全国での新規陽性者、初の10,000人超				
			1日	職員家族のワクチン接種1回目	接種者約800人			
			5日	まん延防止等重点措置発令（8/8～8/31）	名古屋市を含む12市町村が対象			
			6日	政府より感染拡大とオリンピックとの因果関係はないと発表				
		9月	8日	東京オリンピック閉会式				
			17日	まん延防止等重点措置対象地域拡大、期間延長（～9/12）	名古屋市を含む12市町村→39市町へ			
			18日	愛知での新規陽性者、初の1,000人超				
			22日	職員家族のワクチン接種2回目				
			23日	委員会・会議自粛について発令6度目（～無期限）				
			24日	東京パラリンピック開会式				
			25日	まん延防止等重点措置から緊急事態宣言へ移行（8/27～9/12）	愛知・岐阜・三重を含む21都道府県へ対象地域拡大			
			31日	職員1名陽性	同居人から感染と判断されたため傷病申請へ			
			10月	4日	HP上へワクチン予約終了のお知らせUP			
				5日	東京パラリンピック閉会式			
		6日		HP上へワクチン予約再開のお知らせUP				
		6日		県より高校生のワクチン接種の協力依頼あり（9/18～10/30）	平日17時～19時、土曜13時～15時			
		6日		高校生のワクチン接種についてスタッフ募集	各日、医師3名・看護師6名・受付6名			
		7日		病院機能評価受審再延期決定				
		9日		緊急事態宣言延長（～9/30）	愛知を含む19都道府県が対象			
		15日		HP上へワクチン予約終了のお知らせUP				
		18日		高校生のワクチン接種開始				
		28日		委員会・会議自粛解除（10/1～）				
		11月	28日	緊急事態宣言から厳重警戒措置へ移行（10/1～10/17）				
			10月	14日	厳重警戒措置解除決定（10/18～）			
			11月	25日	職員のコロナワクチン接種3回目についてのお知らせ（理事長通達）			
			12月	20日	職員のコロナワクチン接種3回目開始			
				28日	年末年始休暇中の発熱・体調不良時の対応について（院長通達）	原則発熱外来受診とする		
			2022年	令和4年	6月	6日	医療従事者3回目コロナワクチン接種について（理事長通達）	
						8日	HP上へ「3回目の新型コロナワクチン接種予約に関するお知らせ」をUP	電話不可、診察室もしくは医事課受付のみ対応
					7月	11日	3回目ワクチン接種に携わる医師募集について（院長通達）	
						12日	政府より、医療従事者は濃厚接触者でも条件を満たせば勤務可能と発表	毎日の陰性確認が必須
						13日	委員会・会議・実習受け入れ・集合研修について（1/13～無期限）（院長通達）	原則中止、感染管理が十分である場合は実施可
		14日				職員がコロナ濃厚接触者となった場合の対応について（理事長通達）		
		8月			15日	医療従事者3回目コロナワクチン接種開始		
					16日	政府より、一般の方の濃厚接触者の待期間を短縮すると発表あり	14日間から10日間へ変更	
					17日	濃厚接触者の一部職員に対し、就業前PCR検査を開始		
					19日	まん延防止等重点措置発令（1/21～2/13）	愛知を含む1都12県が対象	
			26日	HP上へ新型コロナウイルス感染症の発生についてUP	職員2名			
27日	まん延防止等重点措置対象地域拡大		愛知を含む34都道府県が対象					
9月	4日		コロナ感染・濃厚接触対応について（現時点）（理事長通達）	業務復帰条件の明示				
	5日		全国での新規陽性者、初の100,000人超					
	10日		まん延防止等重点措置期間延長（～3/6）	愛知を含む13都道府県が対象				
	13日		一般の方へ3回目コロナワクチン接種開始					
10月	26日	愛生会館2部屋を職員が濃厚接触者となった場合の住居として使用						
	5日	まん延防止等重点措置期間延長（～3/21）	愛知を含む18都道府県が対象					
	17日	まん延防止等重点措置解除決定（3/22～）						
	28日	委員会・会議自粛解除（4/1～）						

総合上飯田第一病院

上飯田  
リハビリテーション病院

上飯田クリニック

介護福祉事業部

愛生会看護専門学校

各種活動

論文・抄録

## ▶ 上飯田リハビリテーション病院

院長 水野 正昇

### 上飯田リハビリテーション病院の取り組み

2019年12月に中国の武漢市に端を発した新型コロナウイルス感染症が世界中に拡散し猛威を振るい始めてから既に2年以上が経過しました。

当院では2020年1月から全職員に対して標準予防策の徹底、環境整備の強化、入院患者さまへの面会禁止、などの新型コロナウイルス感染症に特化した感染予防策を行ってまいりました。

しかし、2020年12月初旬、入院患者さま1名、病院職員1名に新型コロナウイルス感染を認め、その後12月末～2021年1月にかけて患者さま、職員に合わせて10名の感染例が確認されました。名古屋北保健センターに連絡し、新規入院の受け入れと通所リハビリテーションの利用停止し、環境の消毒を行い感染拡大防止に努力しました。

その後も臨時の感染委員会を頻回に行い、再度の職員に対する注意喚起、標準予防策の徹底などを行い、感染拡大することなく終息できました。

その後1年余りは院内に感染例の発生は無く、無事に経過していましたが、オミクロン株による第6波が全国的に拡大した2022年1月には再度クラスターが発生し、入院患者さま28名、病院職員7名の感染者を確認しました。

病棟内の環境整備、標準予防策の再度の徹底と病棟内のゾーニングを行い、新規入院の受け入れと通所リハビリテーションの利用を停止し、感染拡大防止に努力し感染の拡大を食い止め、終息をみております。患者さま並びにご家族さまには多大なご迷惑とご心配をおかけしたことをお詫び申し上げます。

### 今後の課題

今後も入院患者さまの安全を第一に考え、病院内への新型コロナウイルスの侵入を防止する対策を高いレベルで行ってまいります。

「標準予防策の徹底」と「変動し続ける新型コロナウイルス感染症に適切に対応し続ける」ことを継続して行うことで安全な医療環境を提供していきたいと考えております。

## ▶ 上飯田クリニック

院長 三浦 直人

### 新型コロナウイルス感染症に対する取り組み

2022年2月現在 日本は新型コロナウイルス感染症第6波の最中です。オミクロン株が猛威をふるい過去最高感染者数の記録を毎日更新しています。愛知県は、まん延防止重点措置等の期間中です。2022年1月からのオミクロン株の猛威はピークアウトが見えない程の状況であります。

このような中で当クリニックの対応は、患者及び職員が引き続き感染予防対策に徹する事。患者さんは、3回目のワクチン接種を早々に打ち終わるよう案内をする事しか出来ません。

2021年4月に当院通院患者が1名感染して以降、今回の第6波までは感染者及び濃厚接触者の発生はありませんでした。しかし、今回の感染拡大の渦中で、2022年1月に感染者1名（デイサービスで感染）、濃厚接触者2名（デイサービス利用者と家族感染） 2月に感染者2名（2名とも家族が感染）となりました。

今回の患者さんも当院の患者の感染者は入院適応となりませんでした。クリニックでは、感染者及び濃厚接触者の透析実施について、火木土の午後からの臨時の通院枠を準備しました。感染者は3階個室（1部屋）、濃厚接触者は2階で実施としました。

2月の2名感染者の発症時期がずれていたため、個室透析が可能でしたが、複数同時の感染となると新たな方法を検討しなくてはなりません。

入院加療が出来ない中でしたが、コロナウイルス感染治療の内服薬（ラゲブリオ）の投与をしました。感染者が増える傾向にあるならば、その他の治療として、一泊入院での中和抗体治療薬（抗体カクテル療法）の投与も検討できますが、入院先の確保など課題となっています。

クリニックでは、何とか感染拡大を抑えてきていますが、今回の感染は、家族・介護サービス利用からの感染と外からの持ち込みとなっています。クラスターの発生しないよう、引き続きの感染予防を徹底するしかない事態でもあります。

また 2021年5月より患者広報紙「KC通信」を隔月で発行して「新型コロナウイルス感染症について」を5回にわたり連載して患者への情報提供もおこなってきました。

新しい感染情報が次々と出される中、ステルスオミクロンによる第7波も懸念されています。今後は、クリニックの新型コロナウイルス感染症対応マニュアルの改訂版の準備を急ぎます。

## ▶ 介護福祉事業部

事務長 嶋津 誠一郎

### 新型コロナウイルス感染症2021年の取り組み

2019年12月にはじまった新型コロナウイルス感染症は現在（2022年2月）も世界的大流行が続いています。国内に目を向けても、第6波のまん延防止等重点措置が延長されるなど、2年が過ぎましたが収束の兆しはなかなか感じられません。

介護福祉事業部は、地域の利用者の皆様の生活を支えるため、訪問サービス、通所サービス、複合型サービス、居宅介護支援サービスを展開しています。

「手洗い」「手指消毒」「うがい」等の基本的な感染対策を徹底し、コロナウイルスを「持ち込まない」「拡げない」ように以下の対策を実施しています。

＜感染対策＞

- ①職員自身の体調管理
  - 出勤前、出勤中、出勤後の体温計測の実施。
  - 発熱時には出勤を控える。
  - 体調が悪い時には無理に出勤しない風土づくり
- ②標準的感染対策の徹底
  - うがい、手洗い、手指消毒、マスク、ゴーグル等の使用
- ③環境衛生の徹底
  - 備品消毒、換気の徹底
- ④入退室時の体温計測
  - 施設への入室にあたり検温の実施、注意喚起の徹底
- ⑤ソーシャルディスタンスの徹底
  - 密にならない環境づくり

総合上飯田第一病院

上飯田  
リハビリテーション  
クリニック

上飯田クリニック

介護福祉事業部

愛生会看護専門学校

各種活動

論文・抄録

## ▶ 愛生会看護専門学校

副校長 校條 英子

新型コロナウイルスの感染が国内で初めて確認されて、間もなく2年が経ちます。収束の見通しもつかないまま、不可抗力に生じる感染の波に溺れないように対応してまいりました。2020年3月に始まった唐突な臨時休業から、一気にオンライン配信の遠隔授業を始め、その後は分散登校を組み合わせたハイブリッド授業を行いながら学びを止めないようにカリキュラムを進めてまいりました。

本年度は学生と全職員が2回のワクチン接種を終え、対面授業を中心とした授業を進めることができました。学生には、「気の緩みを招くことなく、医療従事者としての強い倫理観を持ち、学習者としての責任を果たすこと。」「宣言慣れや自粛疲れに陥りやすいので、感染予防策をとり心身のリフレッシュ」を伝え、なんとか夏の第5波を乗り切ることができました。しかしながら、感染拡大防止のため実習受け入れ中止や期間の延期など、通常のようにはいきませんでした。貴重な臨地実習を体験した学生の80%は、緊張感を保ちながらコロナ禍で懸命に働く先輩看護師の姿から「(先輩看護師のように)働けるのか考えると怖い」「自分たちは看護体験が少なく就職後が不安」と不安を感じつつも、84%の学生は看護実践の達成感を感じています。この両価性の感情は、看護師としての職業アイデンティティが育っている証なのではと感じています。

VUCA(変動性、不確実性、複雑性、曖昧性)の時代といわれる今、従来の当たり前が通用しません。学び方は多様ですが、やはり人との関りと臨地実習でしか学べない看護体験はしてほしいと願っています。今後も臨床との連携をとりながら「今ここでの学び」に取り組んでいきたいと思えます。